

各教科の分析結果の見方

小学校・国語

平成28年度「全国学力・学習状況調査」相模原市分析結果について

小学校国語における本市の状況

結果の概要（A問題）

本市の国語A（主として知識に関する問題）の全体的な結果は、全国よりやや低い状況である。漢字やローマ字を正しく読むこと、書くことについては、正答率が低い。

【調査問題の趣旨】
基礎的・基本的な知識・技能が身に付いているかどうかをみる問題

結果の概要（B問題）

本市の国語B（主として活用に関する問題）の全体的な結果は、全国とほぼ同様の状況である。目的や意図に応じて、グラフや表を基に、自分の考えを書くこと、目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながらかき読むことにおいて正答率が低い。

【調査問題の趣旨】
基礎的・基本的な知識・技能を活用することができるかどうかをみる問題

指導の成果がみられる点

「読むこと」について、文章を図表やグラフなどと関係付けて読む力が付いているかどうかをみる問題では、正答率（H25 およそ5割及び6割 → H28 およそ9割）が向上している。

【A問題】漢字とローマ字を正しく読むこと、書くことについては、一部に課題がある。

◎平仮名で表記されたものをローマ字で書いたり、ローマ字で表記されたものを正しく読みたりすることができるかどうかをみる問題

1 ringo → rinu

2 satte → _____

3 ひゃく → _____

hyaku → _____

- 1 正答: ringo (全国公立学校 正答率 53.2%)
- 2 正答: satte (全国公立学校 正答率 41.8%)
- 3 正答: ひゃく (全国公立学校 正答率 50.7%)
- 正答率は全国より低い。

◎学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読みたり書きたりすることができるかどうかをみる問題

1 漢字が「りんご」とあるところを「りんご」と正しく読み書きする。

2 漢字が「さつて」とあるところを「さつて」と正しく読み書きする。

3 漢字が「ひゃく」とあるところを「ひゃく」と正しく読み書きする。

◎正答率は全国より低い。

1 正答: かいせい (全国公立学校 正答率 79.3%)
2 正答: はか (全国公立学校 正答率 81.0%)
3 正答: 親 (全国公立学校 正答率 73.8%)
○正答率は全国より低い。

新出漢字の読みや意味を自ら調べたり、漢字の持つ意味を考えながら正しく使ったりする習慣を身に付け、漢字を正しく読みたり書きたりすることができるよう、指導の充実を目指します！

【B問題】「い」目的や意図に応じて、グラフや表を基に、自分の考えを書くことに課題がある。

◎目的や意図に応じて、グラフや表を基に、自分の考えを書くことができるかどうかをみる問題

◎正答率は全国より低い。

◎目的や意図に応じて、グラフや表を基に、自分の考えを書くことができるかどうかをみる問題

◎正答率は全国より低い。

◎学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読みたり書きたりすることができるかどうかをみる問題

◎正答率は全国より低い。

図表やグラフなどを根拠にすると読み手への説得力が高まることを子どもたちが実感し、目的や意図に応じて自分の考えを書くことができるよう、指導の充実を目指します！

今年度の調査結果からみられる本市の概要について、A問題、B問題に分けて示しています。

過去の調査結果と比較し、今年度、指導の成果がみられる点について示しています。

A問題で課題がみられる点について、問題の趣旨と問題、解答、全国平均正答率、充実させる指導について示しています。

B問題で課題がみられる点について、問題の趣旨と問題、解答、全国平均正答率、充実させる指導について示しています。

各教科の分析結果の見方

【指導の成果がみられる点】 目的に応じて文章と図表やグラフなどと関係付け、的確に読む力が身に付いてきている。

平成25年度A問題 5 正答: A1、I3
 ○A: およそ5割の正答率(相模原市立小学校)
 ○I: およそ6割の正答率(相模原市立小学校)

平成28年度A問題 5 正答: 4
 ○おおよそ9割の正答率(相模原市立小学校)

文章を図表やグラフなどと関係付けて読む力については、国語科だけではなく、各教科等において目的や意図に応じて必要な情報を集めたり、まとめたりする活動を行ったことにより身に付いてきたと考えられます。

指導の成果がみられる点について、過去の問題及び相模原市のおよその正答率を示すとともに、成果の根拠を示しています。

質問紙からみえてきたこと

児童質問紙 ■ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまらない ■ 当てはまらない

Q 国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか

学年	当てはまる	どちらかといえば、当てはまる	どちらかといえば、当てはまらない	当てはまらない
H27 市	19.7	41.3	30.2	9.8
H28 市	21.9	40.5	29.2	8.4
H28全国	25.1	41.9	26.0	6.8

Q 国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気を付けて書いていますか

学年	当てはまる	どちらかといえば、当てはまる	どちらかといえば、当てはまらない	当てはまらない
H27 市	29.4	40.2	23.2	7.7
H28 市	29.8	42.2	21.6	6.1
H28全国	31.9	42.1	20.4	5.3

○書くことについて、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と肯定的な回答をしている児童の割合は、平成27年度の結果よりもやや増えているが、全国よりもやや低い。

「相手や目的をはっきりさせて文章を書く」「自分の考えだけでなく相手が書き手の考えを理解できるように文章の構成を工夫して書く」等の学習活動を通して、書く力を育めるよう、指導の充実を目指します！

Q 読書は好きですか

学年	当てはまる	どちらかといえば、当てはまる	どちらかといえば、当てはまらない	当てはまらない
H27 市	47.0	23.6	16.1	13.1
H28 市	48.4	24.3	16.2	10.9
H28全国	49.3	25.3	15.3	9.9

◎保護者の皆様へ
 ・いろいろな種類の本や文章にふれる機会を作ってみましょう！
 ・文学的な文章(絵本、物語文)、説明的な文章(説明文、新聞、コラムなど)を読むことによって、もの見方や考えが広がります。また、言葉の正しさと美しさ、優れた表現に触れ、子ども自身の語感も磨かれます。楽しむために読む、調べるために読む、知的欲求を満たすために読むなど、いろいろな目的に応じて本を選び、読む機会を作ってみてはいかがでしょうか。
 ・「こんな本ないかな?」など本選びに困ったり迷った際には、学校図書館図書整理員さんがサポートしてくれます！
 相模原市の小中学校には、図書整理員を配置しています。読書環境、読書相談等の役割を担っています。

○読書について、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と肯定的な回答をしている児童の割合は、平成27年度の結果よりもやや増えており、全国とほぼ同様である。

児童生徒質問紙の結果を取り上げ、本市の子どもたちの意識に関する状況を示しています。

保護者の皆様に意識していただきたいことを示しています。